

# 建築研究所 ニュース



平成21年11月11日

中国四川大地震の復興支援としての「中国耐震建築研修」の開講について  
(専門紙記者懇談会資料)

平成21年11月11日に国土交通省で開催しました、「建築研究所 第3回専門紙記者懇談会」の配付資料をご案内します。

## (内容の問い合わせ先)

独立行政法人 建築研究所  
所属 総務部総務課  
氏名 大高 茂則  
電話 029-879-0605(直通)  
E-mail ootaka@kenken.go.jp

# 中国四川大地震の復興支援としての 「中国耐震建築研修」の開講について

新しい研修コース「耐震建築の設計・診断・補強コース(略称:**中国耐震建築研修**)」が、この10月27日(火)に開講しました。本研修は、昨年5月に発生した**中国四川大地震**に対する日本政府の復興支援のために(独)国際協力機構(JICA)が実施する「**耐震建築人材育成プロジェクト**」の一環として行われます。

建築研究所講堂で開催された開講式には、中国住宅都市農村建設部工程質量安全監管司長の陳重氏ほか4名の中国政府関係者の方々が出席されました。



開講式における中国住宅都市農村建設部  
工程質量安全監管司長・陳重氏の挨拶



中国からの20名の研修員

本研修では、には、中国四川大地震の被害を受けた四川省などから**20名の構造技術者**が参加しました。開講式から約2ヶ月の間、建築研究所の国際地震工学センターにおいて、**建築物の耐震設計・診断・補強**に関する研修が行われます。

本研修によって、耐震技術に関する中国の構造技術者の理解が深まるとともに、中国国内、特に耐震対策が緊要と考えられる地方の住宅、学校、病院等の建築物について耐震技術が普及することが期待されます。

## <研修の概要>

研修期間:平成21年10月28日(水)~12月22日(火)

場所:建築研究所 国際地震工学センター

参加者:中国構造技術者20名

主な講義内容:耐震設計、耐震診断および補強、免震・制振構造、超高層建築など

## 参考資料： JICA「耐震建築人材育成プロジェクト」の概要

### プロジェクトの目標

本プロジェクトによって実施される研修によって、構造技術者及び関連の行政官が、耐震技術に関して更に理解を深めることを通じ、中国国内、特に耐震対策が緊要と考えられる地方の住宅、学校、病院等の建築物について耐震技術が普及する体制が整備されることを目指します。

### 本邦研修

#### ① 耐震建築の設計・診断・補強コース (対象者:構造技術者等)

(独)建築研究所・国際地震工学センターにおいて実施

1回につき20人程度  
約2ヶ月間  
計3回(1年に1回×3年)

#### ② 健全な建築施工を確保するための建築基準・制度コース (対象者:行政官等)

#### ③ 都市地震防災計画コース

(対象者:都市防災担当の行政官等)

#### ④ 歴史建築物の保全保護コース

(対象者:歴史建築物専門の構造技術者等)

#### ⑤ その他の研修

- ・ 長期研修員制度による個別課題の研究
- ・ 国際地震工学研修への参加など

3年間で150～170人の人材を育成します。

### 中国国内研修

日本で研修を受けた技術者等が講師となり、中国国内で技術の普及を図ります。3年間で、約5,000人の構造技術者の育成を目指します。

日本からは、長期専門家3名(常駐)+短期専門家7名程度(随時)を派遣し、カリキュラムや教材の作成等を支援します。また、国内研修に必要な機材を供与します。